

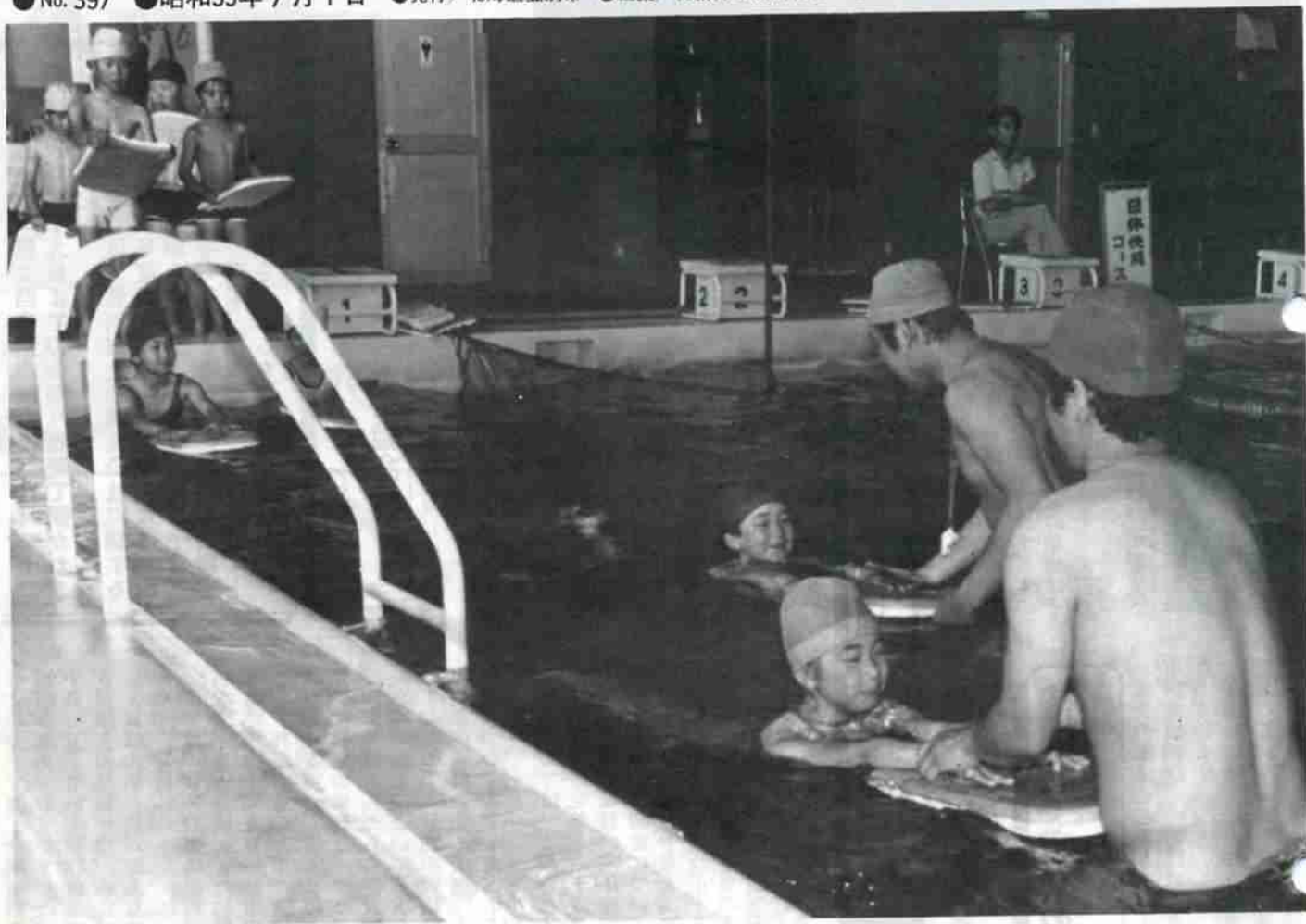
主な内容

広報

のほろべつ

- 登別川にサケ・マス捕獲施設を設置—第2回定例市議会……………2P
- いざというときに備えて豪雨災害防災訓練を実施……………3P
- 快い汗、さわやかなふれあい—若者の文化活動を追って……………4・5P
- 防ごう非行、助けよう立ち直り—第34回社会を明るくする運動……………7P

● No. 397 ● 昭和59年7月1日 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/大洋印刷



水を元気にキック

市民プール水泳教室

元気な声の「コンニチワ」で始まる小学生低学年の水泳教室には今年も30人の定員に対して230人という応募があり、その人気のすごさは例年どおりのものでした。

水に親しみ、健康の増進や体力づくりを目的としたこの水泳教室は、市民プール(千歳町3丁目)で行なわれましたが、好運をつかんだ子どもたちの顔は真剣そのもの、元気いっぱい水しぶきをあげていました。

全身運動といわれる水泳は、体力づくりに最適なスポーツです。本格的な夏に向って、皆さんも市民プールで体を鍛えてみてはいかがでしょうか。

また、総合体育館前の市営水泳プールもオープンしますので合わせてご利用ください。(利用案内は7ページに掲載)

7. '84
1



サケマス捕獲施設が設置される登別川
(国道から100%程上流)

登別川に サケ・マス捕獲施設を設置

第2回定例市議会

昭和五十九年第二回定例市議会は、六月二十二日から六月二十九日までの会期八日間で開催されました。
この定例会では、登別市土地開発公社に関する昭和五十八事業年度の実績報告など報告六件、西胆振成人病予防組合の解散、一般会計補正予算案、登別市職員の定年等に関する条例の制定など議案十三件、このほか選挙、推薦が各一件の合計二十一件の案件が審議されました。

大きな実績を残して 西胆振成人病予防組合解散

西胆振成人病予防組合は、昭和四十九年四月から西胆振八市町村の共同で設立されたもので、成人病、婦人病、結核などの早期発見に大きな実績をあげています。

今年二月、室蘭・登別保健センターがオープンし、最新設備による検診ができるようになったため、業務の一部が重複する西胆振成人病予防組合を解散することになったのです。

登別商工会議所庁舎(商工会館)は、隣接する登別郵便局の拡張のため、北海道郵政局に売却されました。
このため新庁舎の建設場所

一般会計予算は 百二十七億七千九百万円に

昭和五十九年度一般会計補正予算は、補正額一億六千二百五十九万円を追加するもので、歳入歳出予算の総額はそれぞれ百二十七億七千九百万円となりました。
補正予算の主なもの、次のとおりです。

- 小規模治山事業費：千二百一十万円
- 美園町四丁目の室蘭総合自動車学校裏山を格子わく

などについて商工会議所内で検討が進められていましたが、中央町五丁目の市買物駐車場が最適との結論が出、市に対して買取の申し入れがありました。

市では、買物駐車場の利用状況などを十分検討した結果、新会館の駐車場を買物駐車場として利用することで、現買物駐車場を廃止しても支障がないと判断しました。また、商店街の皆さんからも現買物駐車場の廃止について了承を得ましたので、「登別市買物駐車場条例を廃止する条例」の制定について提案したものです。

議案としては、これらのほか、市職員の定年を六十歳とする「登別市職員の定年等に関する条例」の制定についてや、市職員の退職手当を国家公務員に準ずる率に改正する「登別市職員の退職手当の支給に関する条例」の一部改正などについても提案されています。

プロックによって治山事業を行うものです。

待望のふれあいセンター 建設に着手

議会の議決を必要とする工事請負契約は、一億円以上となっています。

今議会には、柏木町の柏葉団地に建設する五階建ての第一種公営住宅と鷺別三丁目

○さけ捕獲施設設置事業補助金：百五十万円

昭和五十七年四月に、登別上流のサケ、マスふ化場から放流されたサケの稚魚は、今年の秋から立派なサケとなって戻ってきます。今年には三年魚で約五千四百匹の回帰が予想されます。さけ捕獲施設は、そ上するサケを捕獲するために登別漁業協同組合が登別川に設置するもので、この事業費を補助します。

○幌別西小学校校舎改修事業費：三千百万円
教室と廊下の窓枠の改修をします。また、校舎内部の建具も改修します。

○登別中学校校舎改修事業費：二千百万円
給食コンテナ室と生徒玄関の改修、管理棟内外部の改修をします。

○道々洞爺湖登別線道路改良受託事業費：二千三百万円
道々倶多楽湖公園線道路改良受託事業費：二千六百七十六万円

○サト岡志別川河川災害関連復旧事業費：千六百五十万円
第二の沢川河川災害復旧事業費：二千八百八十五万円

市民見学会

参加者を募集します
今年の市民見学会は、次の要領で三回実施します。都合の良い日程を選んでどしどしご参加ください。
定員／各日程とも30名。(四歳未満の幼児の同伴についてはご遠慮ください。)
主な見学施設／清掃工場、郷土資料館、亀田記念公園、日本工学院北海道専門学校など。

申込先／公聴広報課(TEL 512111内線222)
希望見学会日を指定のうえ電話で申し込みください。日程によって集合場所が異なりますのでご注意ください。
申込み受付／各見学会とも7月9日午前9時から。定員になり次第締め切ります。
昼食／学校給食を試食していただきますので各自で用意する必要があります。
※雨天でも実施しますので、雨具の用意をしてください。

日程表

見学会日	7月11日	7月12日	7月17日
集合場所	鷺別支所	市役所裏	登別支所
集合時間	10時00分	10時00分	9時50分

いざというときに備えて 豪雨災害防災訓練を実施

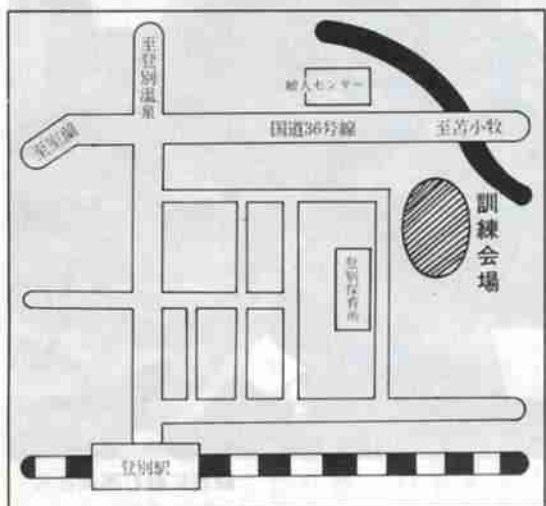
市では、大雨災害時の防災活動の円滑な対応に役立てるため、七月十三日（金）午前九時三十分から登別東町一丁目、井華塩業跡地広場で大規模な防災訓練を行います。

昨年の大雨災害を教訓として

昨年九月、登別市を襲った豪雨は、三時間の雨量で三百三十八ミリに達し、気象庁開設以来第三位という驚くべき雨量を記録、市内の各所に甚大な被害をもたらしました。特に雨のひどかったのは登別温泉、札内、登別地域で、ホンアヨロ川や岡志別川などの中小河川の氾濫による被害



昨年の防災訓練から
(仮設橋設置訓練)



豪雨災害を想定し総合的な訓練

今回の防災訓練は、こうした過去の経緯をふまえ、豪雨災害を想定して行われます。訓練の主会場は、登別東町一丁目の井華塩業跡地広場で、被害想定地域は中登別町、登

- 別東町、登別本町の全域です。訓練は、集中豪雨によって登別地区の中小河川と登別川が氾濫、登別地区一帯が浸水し、今後も被害の増大が予想されるのを想定で行われ、主な訓練内容は次のとおりです。
- 被害発生地域住民への広報活動訓練、避難誘導訓練。
- 住民避難時の交通規制訓練、警備訓練。
- 堤防決壊の恐れがあるという想定による水防工法訓練。
- 橋の流失を想定した仮設橋訓練。
- 避難者への炊き出し訓練。
- 電話柱及びケーブルの流失による電話回線復旧訓練。
- 電柱の流失による停電を想定し、配電線路復旧訓練。

- 送水管の流失にともなう水道復旧訓練とプロパンガス噴出によるガス施設復旧訓練。
- 断水による飲料水確保のための給水訓練。
- 負傷者の輸送訓練。

これらの訓練には市だけでなく、胆振支庁、登別電報電話局、室蘭警察署、陸上自衛隊幌別駐とん部隊などの関係機関のほか、地域の町内会も参加して行われ、総勢約千五百名の大規模なものとなります。

市では、皆さんの生命と財産を守るため、あらゆる角度から防災対策を進めています。しかし最も大切なことは、自分の命と財産は自分で守るという心がまえではないでしょうか。

各防災機関が参加協力して行われる、本格的な総合防災訓練を皆さんもぜひ見学し、その時のために備えてください。

公聴広報課は、公聴広報係、統計係、公害防災係、交通安全係の四係で、課長をはじめ十名で業務を担当しています。職場は二階です。

公聴広報係は、市政と皆さんを結ぶパイプ役です。市の動きなどを広く皆さんにお知らせするとともに、市政について皆さんの声を聴くのがこの係の仕事です。いま、お手元の「広報のぼりべつ」は、この係で編集しています。

公聴広報係は、皆さんが健康で快適な生活が営めるよう公害防止や公害の相談などを処理しています。公害には、大気、水質、騒音、振動、悪臭などがありますが、これらの公害の未然防止のため、工場や生活環境の定期的な調査も行っています。

こゝには市役所です ②

—公聴広報課—

また、大雨や地震などの災害対策もこの係の重要な仕事です。今年七月十三日、登別東町を会場に大雨災害を想定した大規模な防災訓練を行うことになっていました。附近にお住いの皆さんのご協力とご参加をお願いします。

交通安全係は、悲惨な交通事故の絶滅のため徹底した交通安全思想の普及を図っています。幼稚園や小学校などでの交通安全教室を行っているほか、老人クラブ連合会交通安全推進委員会など各種交通安全団体を育成し、地域ぐるみの交通安全意識を高めることがこの係の仕事です。

統計係は、統計調査に関することや統計資料の収集などを主な仕事としています。皆さんがよくご存じの国勢調査はこの係が担当しています。今年、全国消費実態調

査、工業統計調査、毎月勤労統計調査などがあります。統計調査員がお伺いしました折には、よろしくご協力をお願いします。

このほか、市民交通障害保険や交通安全の相談、臨時運行許可業務などの仕事も担当しています。

汗さわやかなふれあい

——若者の文化活動を追って——

新しい都市が形づくられていく中で、市民の間にもさまざまな活動が芽ばえ、育っていきます。

特に、精神的な豊かさが求められる今、生活や心に潤いを与えてくれる文化面での活動は、市民会館を拠点としたサークル団体や各種団体の利用に見られるように活発化し高まりつつあります。

しかし、その中核をなす若者の文化活動は、どうでしょうか。

今号では、登別市民吹奏楽団の一員として汗を流し、練習に励んでいる黒沢英明さんの姿を通して、若者の文化活動に目を向けてみました。



練習に励む高沢さん

活動を通して 充実した生活

登別市民吹奏楽団の団員は三十二名。音楽に関心の深い者同志が、自主的に集まって結成されたものです。

黒沢英明さん（二十一歳）が、その一員になったのは三年前。

「多くの仲間と一緒に、音楽活動をしたかった」というのが入団の理由。

現在、室蘭市内のデパートに自宅（登別本町）から通勤しています。職業柄、勤務が終わるのは夜の七時ごろ。その後、楽団の仲間との合同練習に仕事の疲れも忘れ励んでいます。

「練習が、つらいと感じたことはありません。それより楽器を通して多くの友だちが



仲間との楽しい語り合いのとき

出き、楽しくてしかたがない」と話す黒沢さん。
そこには、練習の成果を地域社会に向けて、問いかけていこうという姿勢と、限られた時間を音楽という文化活動に最大限に使い、充実した生活を送っている姿がうかがえます。

市民とのふれ あいが励み

市民吹奏楽団の中で黒沢さ

んは、「トランペットを担当しています」
「単なる趣味や愛好家の集まりではなく、音楽性豊かなものを追求して、その追求の過程を市民のみんなに聞いてもらいたい」と意欲を見せています。

その評価の表れとして、昨年十月、江別市で開催された全道吹奏楽コンクールで銀賞を受賞。
市民吹奏楽団でおこなう行事のメインは、年一回開催

快い



6月に開催された定期演奏会



する定期演奏会。

今年、観衆の方に演奏を「鑑賞する側」から「参加する側」になるような企画を組む奏者と観者が一体となった楽しい演奏会でした。

ほかにも、老人ホーム・病院などの慰問に積極的に出かけています。

「演奏会や慰問先で、みんなに喜んでもらえた時は、最高です。」と黒沢さん。

この様に、音楽を媒体として、人間と人間の心のふれあいが生まれ、より深いところで結びついていくことが若い活動家の大きな糧になっているのではないのでしょうか。

困難を克服して文化活動を

しかし、その反面、悩みが

市内にあるサークル団体の中から、活発に文化活動を行っている三人の若者に



フォークサークル

「火の鳥」

安藤茂さん(31歳)

ないわけではありませ

「団員の職業が、違うためフルメンバーで練習ができな

い。もっと多くの若い仲間に入団してほしい」と黒沢さんは訴えます。

こうした現状は、一市民吹奏楽団に限らず、市内の各地域で文化活動を展開しているサークル共通の課題でもあります。

その反対に、若者の中から

「どんなサークル団体があるのか。また、活動状況がわからない」との声も聞こえてきます。

これらの悩みを取り除くには、若者の考えを知り、語り合うことが大切であり、サークル自体でも、もっと活動内

インタビュウをしてみました。

- ①入会(団)した理由は
- ②活動をしていて楽しいと思うことは、また悩みは
- ③どんな会にしたいか。

①今から三年前。「若者が集まり活発にサークル活動をしています」と言う新聞記事を見て、おもしろいと思い自分から声をかけました。

②近隣の若者と、情報交換などができ、交流も深められる。また、同志が集まらず、自分たちの考えている組織づくりがなかなかうまくいかない悩みも。③コンサート活動などを行い多くの若者に発表できる機会を作り、輪を広げながら、楽しい集まりだということとを市民アピールしていき

容を理解してもらうなど積極的に働きかけることが必要ではないでしょうか。

若者の手で大きな花を

「この街には、一人や小グループで音楽をこよなく愛し、創作に、練習に励んでいる若者がいるのでは」。



劇団

「泥」

高橋繁さん(24歳)



登別社交ダンス

愛好会

伊藤陽子さん(24歳)

そういう、活動よりも、大勢で行動をした方が、行動の分野も広がり、自分の力を十分発揮出来る。友だちの輪も広がる」と語る黒沢さん。

「文化不毛の地」という言葉を耳にしますが、若者が意欲的に活動に参画することによって、市内の全域で文化の花が大きく開くことが期待されます。

①兄が、団員だったので劇団「泥」の存在を知り、興味をわいてきた。何かをしたいと思っていた時でもあり、みんな明るい人だったので。②半年前入会したばかりですが、真の仲間ができた。その仲間と行動できることが、自分にとってもすごくプラスになっている。

③気軽にだれもが、入りやすい劇団にしたい。それと地域に密着した題材をテーマに取り上げた劇を全市民の前で発表したい。

①以前、母親が入会していた時付いて行ったのがきっかけ。その時、踊っている人の姿が、羨しかったので私もやって見ようと思った。②知らない人との触れ合いがプラスになりますし、踊った後の気分は最高です。しかし、会員の大半が先輩の方で、女性がほとんど。男性の会員を募集しています。

③社交ダンスに対する正しい理解をもらうようPRをしたい。

ふれあい広場



ランニングは マイペースで

吉田 敏代さん

(常盤町・主婦)

「動機は、一日一回は汗をかこう
と思ったこと。それに走るとい
うことがスポーツでは一番手取り
早いし、私の性に合っています」
陸上競技場、ソーダ工場付近を
ランニングコースにしている吉田
さんは三十五歳のごく普通の奥さ
ん。三年前から始めたランニング
は、夏はもちろん冬の日も欠かさ
ず、朝六時にはスポーツウェアに
着がえて始めるそうです。
「見ず知らずの人でも、おはよう
の一言が気持ちいいですね。顔見

知りの人を見かけると、ああ
今日も走っているなあと思
います。」
子どもの頃は走るのがおそ
くていつもビリだったという
吉田さん、健康のために始
めたランニングのおかげで肩こ
りもなく、たまには子ども
と一緒に走ること。
早朝六時、吉田さんの写真
を撮ろうと出かけた陸上競技
場には、ほかにも走っている
方たちがいらつしやいました
が、朝のすがすがしいふん
気の中で、マイペースで走る
皆さんの姿に、今の時代に欠
如しかけていない「何かをやる
意気」を感じた次第です。
▼ふれあい広場は、皆さんの
まわりの身近な出来事、ホッ
トな話題を取り上げ紹介して
いく企画です。どんなこと
も結構です。公聴広報課へお
知らせください。(Ⅷ⑤21
11内線222)

街かどで

中央町5丁目北公園

いまやどの公園でもゲート
ボールが盛んです。健康のた
め運動は最高のものですが、
マナーにも十分気を付けたい
ものです。



郷土史探訪

「カニ・サシ・ペツ」の

92 鉾山町 I

源流を訪ねて

小学校時代、学習した地図帳に
鞆別の地名があり、鉾山印「父」
が記入されていたことを思い出し
ます。

「明治二十七年、八年頃、小樽の人
某が、滝の沢(鉾山町西方)、一
ノ谷(薩ノ沢)に於いて試掘し、
三十四年頃、一ノ沢に於いて試掘
したれどもその結果不良にして一
三十九年夏、現鉾主小田良治谷
が採掘をなさしめたるに、一ノ沢
・滝ノ沢・岩ノ崎(鉾山町西北部)
・山ノ下(銅製錬所跡北東)・日
ノ出・鞆別沢・熊ノ沢・旭等の各
所に鉾物を発見し之を分析せしに、
旭坑に於いては合金あるを確め、
有利の見込み立ちたるをもって専
ら力を旭坑に集中することとせり」
と記されています。
小田良治は三井物産の北海道初

晴天に恵まれた五月末の日曜日、
郷土文化会々員十三名で金・銀・
銅・硫黄などを産出した鞆別鉾山
跡の昔をしのび、多少、山師の気
持を味わいながら学習に出かけ
ました。
案内者は鉾山町に生まれ住む千
葉辰男さん(六十八歳)で、生粋
の鉾山人。

つかりとその人口をみせています。
明治四十一年の殖民公報記載の
鞆別鉾山の沿革をみると――
「明治二十七年、八年頃、小樽の人
某が、滝の沢(鉾山町西方)、一
ノ谷(薩ノ沢)に於いて試掘し、
三十四年頃、一ノ沢に於いて試掘
したれどもその結果不良にして一
三十九年夏、現鉾主小田良治谷
が採掘をなさしめたるに、一ノ沢
・滝ノ沢・岩ノ崎(鉾山町西北部)
・山ノ下(銅製錬所跡北東)・日
ノ出・鞆別沢・熊ノ沢・旭等の各
所に鉾物を発見し之を分析せしに、
旭坑に於いては合金あるを確め、
有利の見込み立ちたるをもって専
ら力を旭坑に集中することとせり」
と記されています。
小田良治は三井物産の北海道初

このコーナーに皆さんの写真をお寄せください

山製錬所跡を右手に、鉾山町
の旧社宅跡、白滝坑跡を左手
に遠望し、シノマンベツ(本
流の上流)を西北の方向に進
む。そして前方に山田秀三先
生のアイヌ語地名にあるアツ
イワ岳(鞆別川の源流を発す
る)が屹立している。
鉾山町より約四キロの地点
は旭鉾山の集石場ですが、集
石場(選鉾所)より北西の方
向、二の沢を小川添いに約三
百メートル進むとスリ山の跡
があり、更に西の方向約五、
六十メートルを山添いに行く
と目指す旭鉾の狭い坑道が



鞆別鉾山製錬作業所 (大正初期)

また、工員がワラジの間に砂金
を隠し持ったりするので、外に出
す時にはワラジの底を叩いて坑外
に出したという挿話やホロベツ川
が昔、カニ・サシ・ペツ(黄金の
音がそう然として美しく響く川)
と称されていたゆかりも溪流を
眺めていると不思議と想像でき
るのです。
登録市郷土文化研究会
宮武 紳一記

は硫酸質の多い事を示しています。
緑色凝灰岩中では、鉾染作用が
進み、黄鉄鉱の微晶を伴って合金
桂化帯となり、特に旭鉾のように
硫化物が酸化し溶解した所は含有
金の品位がよく、全盛期の面目が
伺い知れます。
また、工員がワラジの間に砂金
を隠し持ったりするので、外に出
す時にはワラジの底を叩いて坑外
に出したという挿話やホロベツ川
が昔、カニ・サシ・ペツ(黄金の
音がそう然として美しく響く川)
と称されていたゆかりも溪流を
眺めていると不思議と想像でき
るのです。

代所長、札幌の老舗「五番館」の
初代社長・室蘭日本製鋼所の三井
財閥代表監事で、これらを背景に
資本金四百万円という巨大資本を
投じ採掘、精錬を開始しますが、
その元はこの旭坑のヤマです。
坑道に入ると外の暑さが一度に
ひやりとする涼しさで、坑道内の
高さは約二メートル、幅は広い所
で四・五メートル、中でいくつに
も分かれています。
とにかく真暗闇で、案内役の千
葉さんと会員一人の照らす二個の
懐中電燈の光から眼をはずすと足
元も前後左右もまったく分りませ
ん。また、手廻りの採鉾石を搬出
するための堅坑の大きな穴がぼつ
かりと垂直にあるので、坑道の中
の状況をよく知った案内人がいな
ければまったく危険です。
懐中電燈や写真のフラッシュの中
で見える鉾床は、緑色凝灰岩と
プロピライト中の黒鉾石鉾床です
が、坑道の最も広い場所の天井部
から珪化物が笹の莖程の太さで筒
状をなして下っていました。これ
は硫酸質の多い事を示しています。
緑色凝灰岩中では、鉾染作用が
進み、黄鉄鉱の微晶を伴って合金
桂化帯となり、特に旭鉾のように
硫化物が酸化し溶解した所は含有
金の品位がよく、全盛期の面目が
伺い知れます。

防ごう非行 助けよう立ち直り

毎年七月一日から一カ月間、全国一斉に「社会を明るくする運動 強調月間」です。

近年、犯罪や非行の低年化が進み、万引きやシンナーの乱用、恐喝、傷害事件など事態は憂慮すべき状況になっています。

こうしたことから、市では警察署、学校関係、PTA、社会福祉

団体、社会教育団体などの協力のもとに第三十四回社会を明るくする運動の街頭パレードを次のとおり行います。

皆さん一人ひとりの温かい目で見守り、青少年の育成にご協力ください。

▽日時 7月4日(水)午後1時30分から



▽コース 市民会館→幌小グラウンド
▽協賛 北海道警察音楽隊・カラード隊、登別大谷高等学校
▽バスバンド

日時が変更する場合もあり、ご了承ください。お問い合わせは総合体育館へ。(TEL)55552

税務職員を募集します

税務職員(税務大学校普通科研修生)は、人事院が行う国家公務員採用初級試験(税務)の合格者の中から選考します。

▽受験資格 39年4月2日~42年4月1日生まれの方

▽申込受付期間 7月4日~12日

▽申込先 人事院北海道事務局(札幌市中央区大通西10丁目、札幌第二合同庁舎)

▽試験日 第1次試験:10月7日、第2次試験:11月上旬~12月上旬の間の指定する日

※お問い合わせは室蘭税務署へ。(TEL)0143-224151

加入しましょう 市民交通傷害保険

▽申込窓口 公聴広報課(市役所2階)・各支所

▽保険料(掛け金) 一口につき360円(一年分)、中途申込し込みは月額30円

▽加入人数 一人二口まで

▽一口につき支払われる保険金

- 亡くなられたとき:百万円
- けがをして失明したり、片手または片足を失ったとき:百万円
- けがをして医師の治療を受けたとき:五千円から最高十二万円まで

※お問い合わせは、公聴広報課へ(TEL)2111内線242

公害防止管理者 国家試験

受験される方へ

昭和五十九年度公害防止管理者国家試験の受験講習会が次のとおり開催されます。

▽会場 北農健保会館3階(札幌)

▽開催日 月曜と祝日の翌日

▽使用時間 午前10時~午後5時30分まで(ただし、正午から午後1時まででは使用できません)

▽休館日 月曜と祝日の翌日

※なお、天候や水温により開館の都合は順延します。

オーケストラを 楽しもう

市民会館

創立以来六十余年の歴史をもつ京大交響楽団が市民会館で次のとおりコンサートを行います。この機会にご家族そろってオーケストラを楽しんでみてはいかがでしょうか。

▽日時 7月15日/子ども向け:午後2時から、一般向け:午後7時から

▽場所 市民会館(大ホール)

▽入場料 小中学生:300円、一般:800円

▽曲目 カルメン組曲、白鳥の湖、その他

▽問合せ 市民会館(TEL)1100

参加してみよう 青年祭

青年祭キヤンプ大会が次のとおり開催されます。市内に住む勤労青年であれば、だれでも参加できます。お気軽におこしください。

▽主催 登別市青年団体連絡協議会

▽日程 7月21~22日(一泊二日)

▽場所 川上公園(レックハウス)

▽参加費用 1,500円

▽申込先・期限 市社会教育課(TEL)1100/7月15日まで

※参加者は7月21日午後6時まで現地に集合してください。なお

親と子の 文化の会

のほりべつ親と子の文化の会(登別市文化協会所属)では、「子どもの心に愛と希望、知恵と勇気を育てよう」をスローガンに文化活動をすすめています。皆さ

新着図書案内

市立図書館 TEL 54324



行き暮れて雪(野坂昭如) 草履馬流浪記(山口暲) むかしの味(池波正太郎) 夢を食いつづけた男(植木等) 医療革命前後(松本康夫) 盗賊辞典(藤本義一) 父からの贈物(長岡輝子) サントリー宣言部(塩沢茂) 原潜回廊(小川和久) エキブ・ド・シネマ(高野悦子編) 生命探検(田原純一朗) 陸軍輸送船よもやま物語(富沢繁) ボックリ往く人逃げぬ人(早川一光) タマに別れの接吻を(神吉拓郎) 雷鳥の山(畑正憲) 決定的瞬間(岩川隆) 逃走論(浅田彰) 迷路(池波正太郎) 諧調は偽りなり(瀬戸内晴美) 黙市(津島佑子) 恩讐の川面(豊田稔) 自家製文章読本(井上ひさし) 水の流浪(立松和平) 新ワシントンリダーのすすめ(深田祐介) うそ・まこと七十年(円地文子) トットちゃんのカルチャーショーック(黒柳徹子) 写真のワオ(新藤健一) ニースの裏街から(大内聰英) 女たちのヨーロッパ(植村久子) 中・高校生の居場所(斎藤次郎) 性なき巡礼(大谷幸三) 教育はどこへ(永井道雄)

カルルス温泉

老人一日湯治

54年度から実施しているカルルス温泉での老人1日湯治を今年も次のとおり行います。

なお、今年を対象年齢が65歳以上から70歳以上に引きあげられました。

▷対象者 満70歳以上の方(大正3年9月1日以前生まれ)

▷実施日 7月30・31日

(一泊二日)
▷実施場所 カルルス温泉旅館組合加盟旅館

▷申込方法 市役所社会課窓口・各支所・老人福祉センターに備えてある申込書に記入のうえ提出してください。

▷申込期間 7月9日~13日

▷問合せ 社会課(TEL)2111内線291)

※宿泊定員として500人を予定していますので、申込期間内でも定員に達した場合は締め切り

覚せい剤を追放しよう

白い粉——暴力団の資金源となっている覚せい剤は、悪質・巧妙な手口によって最近では一般市民層、なかでも青少年や主婦にまで広がっています。

そして、覚せい剤中毒者による凶悪な犯罪や事故が後を断ちませ

ん。道内でも58年中に1,140人も検査者がでています。

覚せい剤の恐ろしさを認識し、犠牲者を出さないようみんなが注意して覚せい剤を追放しましょう。

▶覚せい剤に関する通報・相談は、最寄りの警察署へご連絡ください。



見たら聞いたら通報を

日本看護協会北海道支部では、最近の医学看護に関する講習会を行い、潜在看護力の再稼働を促進するため次のおり講習会を開催します。

▽受講対象者 現在就職していない看護職の有資格者、就職して

潜在看護婦研修会が 開催されます

一年未満の看護職(保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦)

▽講習日・場所 7月30日(土)8月4日までの6日間・室蘭登別保健センター(室蘭市東町4-20-6)

▽講習科目 最近における薬の知識、検査の知識、看護技術など

▽申込先 北海道看護協会館内・日本看護協会北海道支部/札幌市白石区本通16丁目北6番1号(TEL011-863-6731)

2歳児歯科検診

歯科医師、歯科衛生士、保健婦による2歳児歯科検診を次の日程で行います。

▽内容 講話、歯科検診、歯磨き指導、フッ素塗布の予約

▽対象児 57年4月～6月までの

3歳児健康診査

医師、歯科医師、保健婦、栄養士による3歳児健康診査を実施します。

▽内容 心身の発育状況、歯科検診、尿検査、栄養指導、生活指導

▽実施日・会場 7月11日/鷺別公民館

▽時間・対象地区 午前10時～11時/美園、若草、新生、上鷺別、富岸

3カ月検診

医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽日程・会場・対象地区 7月25日/婦人センター(登別)

献血にご協力を

今月は愛の血液助け合い運動月間です。

夏場をむかえ、今後交通事故や労働災害が多くなり血液の使用も非常に増加する時期となります。私達は献血でお互いに助け合うほかありません。献血は誰にでもできる助け合いです。あなたの善意で愛の献血をすすめましょう。



児童・母子相談

子どもの非行や登校拒否、しつけ、自閉症、養護、ことばの障害、児童施設入所などでお困りの方はお気軽にご相談ください。

◎相談日/場所

▽毎日：午前9時～午後3時(土曜、日曜、祝日を除く) / 市役所市民相談室

▽室蘭児童相談所の定例相談：7月19日(木)午後1時～4時 / 青少年会館(市立図書館横)

※室蘭児童相談所が行う「定例相談」を希望される方は、あらかじめ市役所市民相談室へお申し込みください。(TEL211-1内線212)

シンナーの乱用を防止しよう

最近、シンナー乱用の年令層が低下し、中学生が著しい増加を示しています。

シンナーなどの乱用は、成長期にある青少年の心身をむしばみ、凶悪な犯罪や非行を生み、生命を失うなど、計り知れない害悪を与えています。

地域の皆さんで力を合わせ、シンナーなどの乱用を防止しましょう。

●保護者の「無関心」「黙認」は乱用を助長します。はつきり注意し、乱用をやめさせましょう。

●困った時は、警察、保健所などに相談しましょう。

●「売らない」「盗まない」など乱用少年の手に渡らないように注意しましょう。

市民憲章

ふれあう心の合言葉

一、自然を愛し力をあわせて、緑と空と太陽のいつばいあるきれいなまちをつくりましょう。

不用品ダイヤル市



⑤2111
内線257

おわけします(売り)

学習机、ベットの(ダブル、シングル)、ラジカセ、自転車(幼児用)、ピアノ、キーボード、石油ストーブ(温風式、ポット式)、ホームタンク(90ℓ)、夏タイヤ(600~13)、バイク(125cc)、電子レンジ、電子オーブントースター、健康マット

ゆずってください(買い)

二段ベット、ベビーカー、ズボンプレッサー、自転車(婦人用、大人男用、小学生男女用)、ローラースケート(20~22cm)、子供用プレイヤー、ミニバイク夏タイヤ(615~13)、冬タイヤ(615~13)、石油風呂釜、編機、キャンプ用テント(5~6人用)